



野々市市文化協会 だより

第31号

発行人
野々市市文化協会会長
中村 昭一
事務所
野々市市教育委員会文化課内
野々市市三納一丁目1番地
TEL (076) 227-6121
ホームページ <http://bunkyo.nono1.jp/>

ごあいさつ

野々市市文化協会

会長 中村 昭一



平成30年度野々市市文化協会臨時総会におきまして、役員の皆様方のご推挙により、会長を務めさせていただくことになりました。中村昭一でございます。会長就任にあたりまして、一言、挨拶申し上げます。

14年間の長きにわたり協会を率いてこられた内村元会長におかれましては、協会に対して溢れるほどのエネルギーと情熱を注がれ、協会の柱として築いてこられたことに誠に頭の下がる思いでございます。その重責を引き継ぐことは、私にとりまして身に余る光栄であり、ご推挙いただきましたことに感謝を申し上げますとともに野々市市の文化振興の推進役を果たすべく一層の努力と精進に努めてまいりますことをお誓い申し上げます。

さて、野々市市文化協会は、昭和61年4月1日に設立され、一昨年30周年を迎えました。現在の加盟団体は16団体、構成会員数896名となっております。高齢化がますます進む中においても、市民の皆様方が文化活動を通して人生をより豊かに楽しく過ごすことで、文化の薫り高い野々市市を築いていくことができますように力を尽くしたいと思います。また、伝統文化継承のための後継者育成にも力を注ぐとともに、新規加盟団体の加入・促進に励み、文化協会の基盤をより充実させて、質の高い活動ができるよう努力を惜しまない所存でございます。

結びとなりますが、この度の組織改編に当たり、私を含め新たに二人の副会長を加えた執行部体制となりました。今後とも、野々市市民のための芸術文化の振興を推し進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。



オープニング



オリジナルステージ

野々市市文化協会公式キャラクター

ののふん

正体は、文化に親しむ野々市市民一人ひとりに存在するDNAで、文化協会を盛り上げる使命に燃えています！



キャラクターの詳しいご紹介は、野々市市文化協会ホームページをご覧ください。(アドレスは上記)

花と緑ののいち 椿まつり2018



メインモニュメント

30周年作品展



オープンギャラリー (カレード)



市民展示室 (カレード)

大人のしゃみ活！ 体験教室



いけばな教室



工芸教室

加盟団通信

野々市じよんから節保存会

「じよんから」といえば野々市じよんからがすぐ頭に浮かぶほど有名な同市の伝統芸能である「野々市じよんからまつり」。

会場内ステージにおいて、最後までお囃子を続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会、学校、企業、又は商店街に講習会や宣伝活動にいそんでおります。

小中学生対象の「じよんからKIDS」も結成以来十年以上経ちました。どしどし和楽器と触れ合うチャンスでもありますが、入会してみませんか。

又、この機会に専門的に踊りや囃子など習得してみたい方を随時募集しております。保存会事務局の小川(市役所内)(227-6017)又は、森田(248-4303)まで。



菊花協会

四月八日の「小鉢作業の要領」講習会は、なんと霰が降り、真冬の格好での会となりました。

五月十三日に「菊苗分譲会」に偶然立ち寄られた、赤ちゃんを抱かれた若いご夫婦が、菊苗を買い求めて行かれまして、この苗が大きくなり、花開くことを祈っています。

四月は菊づくりの第一歩である「さし芽」(越冬した菊の新芽を摘み、今年の苗とします)の時期です。このさし芽をまず五月に小鉢に植え付け、六月には大鉢に移し、十月末に大きな花を咲かせるのが、大まかなサイクルです。



椿愛好会

春を告げる一大催事である恒例の椿まつりは、好天に恵まれ多くの来場、賑わいがあり意義深く好評を得えました。会は、毎年各地へ椿見学会を行っております。

この四月、今迄も交流ある愛知県「瀬戸の会」を訪ね、広大な「嵐山つばきの森」(五百種・二千本)等を見学、中でも市民の人生の節目(成人・結婚・金婚)を迎えた記念植樹の取り組み、市花木の普及、保存に寄与していることに好感じました。今後関係先とも相談したいと思っております。

会員を募っております。年会費(千円) ※問い合わせ 076(248)4706 乾野まで



野々市椿愛好会総会と研修会

美術文化協会

また、部門別の展示会やワークショップなども計画いたしました。皆様のご来場を会員一同心からお待ちしております。

また、部



カレードで開催する美術展にご来場を

「学びの杜のいちカレード」を会場に日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門七十八名の会員が七月の市美術展と十月の協会展で作品を発表します。

音楽文化協会

今年二月、多くの皆様のご支援と会員各位のご協力の下、創立四十周年記念の演奏会・式典・祝賀会を無事終了することが出来ました。心より感謝いたしております。一つの節目を経て当協会は、今後

低年齢層へのすそ野拡大を一つの使命として視野に入れ、思いも新にさらなる発展を目指し活動に邁進する所存です。所属団体それぞれの活動の充実を基盤に、組織として野々市市の文化向上に貢献したいと願っています。(団体数十一団体|約百八十人)



創立40周年 記念演奏会

華道協会

平成二十九年度の活動は、カレード開館記念事業の一環である記念華展の開催、更には初めて「大人のしゅみ活」事業に参加し、十二月の二日間に渡り、クリスマス花とお正月花のいけばな体験を通して、多くの参加者の方々に喜んで頂きました。秋のマナビイフェスタへの参加、椿まつりでの参加、ルテメインモニュメントの挿花、各流派のいけばな展示をしました。又、会員の親睦を深める研修旅行は福井・大野方面に行き、有意義な時間を過ごすことが出来ました。



盆栽愛好会

今や海外でも人気のBONSAI、日本の文化と共に育った盆栽、皆で楽しく盆栽を育てながら腕前向上を目指しています。毎年、新緑の季節に開催する「初夏の盆栽展&即売会」は、たくさんのお客をいただき大いに盛り上がります。定期的に講師を招いての研修会や盆栽、山野草などを持寄っての交換会も開催しています。交換会は会員が丹精込めて育てた盆栽、山野草等を安く、競売方式で求めることが出来ます。また、年三回の展示会は会場設営から作品展示と会員みんなの楽しい行事であり、又会員の励みにもなっています。さらに、年一回県内外への親睦旅行も実施しています。

お仲間を募集しています。気軽に参加してみても如何ですか。(入会金千円、年会費、四千元)



即売会

展示会

囲碁協会

囲碁は子供から寿年まで、幅多く一生を通しての趣味ですね。総会を兼ねての新春囲碁大会、椿まつり大会に沢山会好が集まって戦いました。

また、囲碁の例会は、日曜日の午後一時~五時に学びの杜のいちカレードの研修室で行っています。いつでもお越し下さい。

中央児童館では、子供達の囲碁講座も続けています。やってみようという子供達、集まってください。



将棋協会

野々市市将棋協会は、設立して今年で三十五年目を迎えます。現在、会員登録数は約百名となっております。毎週木曜日の午後七時より例会を開催し、A級、B級、C級に分かれて、リーグ戦での順位戦を行い、二ヶ月間の対戦成績により、上位五名と下位五名の入替を行います。又、その結果を、「野々市市将棋協会ニュース」にて、会員へ知らせています。さらに、毎週土曜日には、子供達への指導対局を行っています。今年の県下野々市将棋大会は、九月三十日(日)に、野々市市文化会館にて開催予定です。



俳句協会

俳句協会は毎年の行事として、新年句会、椿まつりやマナビイフェスタでの俳句展示、吟行句会、じよんからまつり俳句大会等、和気あいあいと楽しくやっております。四季を通じて自然の移ろいを五七五の言葉にして一句吟ってみるのも楽しい

ものです。草花や風景等も以前より観察力が豊かになり、俳句に対しての心を養ってくれます。私達会員も日頃の暮らしの中で切磋琢磨と若々しく励んでおります。関心のある方々の御入会をお待ちしております。



H 29年6月 美川方面へ吟行

読書会 連絡協議会

一人で読書。でもその後は誰かと話し合いたい。共感できたり、思いがけない感想に出会ったりすることで作品をより深く理解することが出来ます。読書サークルには「野露」「すずかけ」「ふれあい」のグループがあり、それぞれが毎月一回、テキストの読後感を話し合っています。そのほか、文学と郷土の歴史や文化に触れる研修旅行や三つのグループが同じテキストを用いる合同読書会があります。また、マナビイフェスタと椿まつりでは公開文学講演会を開催し、多くの方が参加しています。読書サークルに加わりませんか。ぜひ一度見学に来てください。



茶道協会

昨年の茶道協会講演会は県立美術館の茶芸員 高嶋清栄氏「小倉色紙と利休の茶」でした。茶の湯の世界では掛物が第一の道具とされてきました。特に禅僧の書である墨蹟が主座を占めてきました。その中で利

休は墨蹟だけではなく小倉色紙に代表される和歌の古筆を用いて侘茶を大成させました。その過程を映像を通しての解説でした。日常生活から一歩離れた空間へ入ることが出来る茶道に、皆さまのご参加を募っています。



社交ダンス 愛好会

ダンスで汗を流しませんか。ダンスは身体の健康や、若々しい精神を維持することに大変役立っています。毎週火曜日午後七時三十分より、野々市市富奥公民館で団体レッスンをを行っています。今年の四月から新しくプロの市村先生を迎え、楽しい御指導をいただいています。写真は今年の椿まつりに参加した折の記念写真です。なお、随時男性会員の募集をしています。初めてのの方も経験者も歓迎します。電話連絡先・076-1248-4133 中村



短歌協会

短歌協会は昨年カレイドのオープニングに作品展をさせて頂き、会員一同貴重な経験になったと喜んでいました。また、五月二十二日津幡町へ吟行に行ってきました。近い町ですがあまり知らなくてふるさと歴史館「れ

きしる」で遺跡が出土する事や水路を中心に栄えていた事を興味深く見学しました。またこの地で布教に勤めた蓮如上人の「お手植えのイチヨウ」に手を合わせ、短歌の祖である「藤原為広の塚」に短歌の思いを新たにしました。新しい会員も加わり楽しく吟行と総会を終えました。



民謡協会

来たる八月十九日(日)に、第二十九回野々市市民謡協会発表会。民謡まつり。をフォルテ大ホールにて午前十一時より開催いたします。会員一同、楽しみ且つ上達を目指して、練習に励んでおります。是非、皆様方、御来場頂きます様お願い致します。又、一緒に目一杯、声を張り上げ、体を動かしてはみませんか。新しいお付き合いか、少しばかりの緊張とか、あらたな変化をも体験されませんか。民謡(楽器も含め)・民舞に興味がお有りの方、各地区公民館又は文化協会事務局(市役所文化課内)迄、お問合せ願います。



能楽愛好会

野々市市内の有志でスタートした能楽愛好会も今年は第十五回目の発表会を迎えました。一人ひとりが少しずつですが上達して参りました。中でも子ども教室の面々は段々難しい舞や謡に挑戦し成長も著しく思

えます。大人の会員も椿まつりや年に一度の愛好会謡会を目標にしっかりと稽古に励んでいます。伝統芸能の継承は簡単ではありませんが、会員一同今後も頑張っていく所存です。



野々市市文化協会表彰 文化活動の功労功績をたたえる



平成二十九年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日（文化の日）野々市市情報交流館カメリアにて挙行され、次の八氏に表彰状とトロフィーを贈り、それぞれの功績をたたえました。（敬称略）



平成29年度 野々市市文化協会表彰贈呈式
野々市市体育協会表彰

【文化功労賞】

- 中野 孝一 (美術文化協会)
- 朝倉 喜裕 (音楽文化協会)

【文化振興賞】

- 中村 三朗 (民謡協会)

【文化奨励賞】

- 清水かほる (じょんから節保存会)
- 山佐 桂子 (じょんから節保存会)
- 森 恵水 (華道協会)
- 竹澤 和枝 (茶道協会)
- 吉村 寛子 (茶道協会)

わが協会にこの人あり

☆加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



野々市じょんから節保存会
加藤 静江さん

じょんから踊りのお手本といったらこの人しか思い浮かばないほど、練達したじょんからの踊り手と会員より慕い憧れている存在の方であろう。読者の方々に保存会の踊りパンフレットをどこかで見た覚えはないだろうか？ 大体の見本踊り手のシルエットが加藤さんにそっくりであることをご存じないだろうか。

加藤さんを見本に・・・は、年代から見てもあり得ないのですが、それほどまでにこの見本に忠実にかつ模写したかのように踊り姿が瓜二つのように感じられるのは私だけであろうか。そこまで踊りのシルエットの綺麗さでは、他に引けを取らなかつたことは保存会員皆異論のないところだろうと思います。

いつまでも他の会員の見本でありますように願うところであります。



能楽愛好会
木戸 玲子さん

お能一家に生まれた木戸さんは、小学生の頃から能の稽古を始め、三年前に宝生流師範となりました。これまで「船弁慶」や「巴」「江口」「羽衣」「乱」、野々市初の薪能など多くの能を舞われ、小鼓も稽古されています。子ども教室を指導され、自身の経験を基に小さい頃から能に親しむ大切さを認識し、子どもたちに謡、仕舞の楽しさを教えられ、稽まつりなどで舞台発表しています。

海外発信にもご熱心で、仕舞や小鼓を稽古しているヨーロッパの愛好者とも交流を重ね、金沢開催に続いて昨年は二回パリを訪れ、今年はフランスでの演能も予定されています。また県内を訪れた外国人観光客が能楽体験する機会も設けておられます。今後も幅広いご活躍を期待しています。

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	栗 貴章	野々市市長	常任理事	中村 三朗	民謡協会
	早川 彰一	野々市市議会議長		山田 深雪	俳句協会
	吉田 修	石川県議会議員		藤 力	茶道協会
	徳野 光春	石川県議会議員		中西名菜子	短歌協会
	堂坂 雅光	野々市市教育委員会教育長		村上 慎市	能楽愛好会
参与	柳田 正久	前文化協会理事長	理事	福井智恵子	じょんから節保存会(兼務)
	山口 正昭	前文化協会副会長		堀江 繁樹	菊花協会
	又多 好子	前文化協会副会長		高見 重任	椿愛好会(兼務)
	岩脇 統一	前文化協会副会長		西山 恭申	美術文化協会
会長	中村 昭一	じょんから節保存会		山本 貴志	音楽文化協会
副会長	柿本 昭博	音楽文化協会		松本 豊紀	華道協会
	小西 國夫	俳句協会		榎田 幸治	盆栽愛好会
	小松 靖典	能楽愛好会		大西 英明	囲碁協会
理事長	高見 重任	椿愛好会		窪田 弘	将棋協会
副理事長	田村 玲雨	華道協会		古田美津子	読書会連絡協議会
常任理事	領毛 隆一	じょんから節保存会		竹森 公勝	社交ダンス愛好会
	馬淵 昭夫	菊花協会		吉倉三喜男	民謡協会
	宮崎 昭男	椿愛好会		笹野 邦子	俳句協会
	竹田 明男	美術文化協会		竹澤 和枝	茶道協会
	柿本 昭博	音楽文化協会(兼務)		香城 清子	短歌協会
	西保 淳甫	華道協会		高木 由次	能楽愛好会(兼務)
	山科 哲次	盆栽愛好会	監事	福井智恵子	じょんから節保存会
	小路 秀明	囲碁協会		高木 由次	能楽愛好会
	西本 正明	将棋協会	幹事	鶴見 圭佑	
	奥田満喜子	読書会連絡協議会		塩田 舞	
	中村 三朗	社交ダンス愛好会		富田 佳代	

団体名	代表者	設立年	会員数
1 野々市じょんから節保存会	中村 昭一	昭和35年	58名
2 菊花協会	中川 修	36年	21名
3 椿愛好会	宮崎 昭男	49年	48名
4 美術文化協会	竹田 明男	52年	78名
5 音楽文化協会	朝倉 喜裕	52年	186名
6 華道協会	西保 淳甫	53年	68名
7 盆栽愛好会	山科 哲次	54年	30名
8 囲碁協会	大西 英明	57年	50名
9 将棋協会	西本 正明	58年	99名
10 読書会連絡協議会	奥田満喜子	61年	26名
11 社交ダンス愛好会	中村 三朗	61年	22名
12 民謡協会	山口 正昭	平成元年	67名
13 俳句協会	山田 深雪	3年	38名
14 茶道協会	藤 力	5年	67名
15 短歌協会	中西名菜子	7年	13名
16 能楽愛好会	地崎 弘吉	16年	25名
計			896名

月日	事業名	場所
8月1日	文化協会だより31号発刊	市内全戸配布
9月21日	研修旅行	長野県方面
10月21日~11月4日	ののいちマナビィフェスタ 2018協賛	フォルテ、カメリア、郷土資料館、カレード
11月3日	文化協会表彰贈呈式	カメリア
11月24日・25日	BIG APPLE in NONOICHI 2018協賛	フォルテ
12月15日	地域文化活性化事業 「大人のしゅみ活はじめませんか？」	カレード
平成31年1月上旬	新年親睦パーティー	フォルテ
3月16日・17日	花と緑ののいち椿まつり2019	フォルテ、中央公園、教育センター